



Chartered April 11, 1998

THE Y'S MEN'S CLUB OF ASHIYA

President : Yasuo Ueno Address: 〒659-0074 2-8-304 Hirata-cho, Ashiya, Japan
Mail : uenoashiya@kbd.biglobe.ne.jp
URL : http://www.kobeymca.org/kobe_ymca/ys/ashiya.html

主 題

- 国際協会会長 Ulrik Lauridesen (デンマーク)
"Let Your Light Shine" 「輝かそう、あなたの光を」
- アジア太平洋地域会長 利根川恵子 (東日本)
"Be the light for change" 「変革のための光となろう」
- 西日本区理事 深谷 聡 (名古屋クラブ)
"Let's illuminate the light of hope for future"
「未来に灯そう(ともそう)希望の光り」
- 六甲部部长 井出 浩 (神戸クラブ)
「YMCA とのさらなる協働を目指して」
- 芦屋クラブ会長 上野恭男
「楽しいクラブライフを！」

今月の聖句

ペトロが、「はい、主よ、わたしがあなたを愛していることは、あなたがご存じです」と言うと、イエスは、「わたしの子羊を飼いなさい」と言われた。 <ヨハネ福音書 21:15>

5月第1例会

と き: 2024年5月15日(水) 19:00~21:00
と ころ: ホテル竹園芦屋
司 会: 島田 恒ワイズ

- | | |
|----------------------|-----------|
| 1. 開会点鐘 | 上野恭男会長 |
| 2. クラブソング斉唱 | 一同 |
| 3. 聖句朗読 | 羽太英樹ワイズ |
| 4. ゲスト・ビジター紹介 | 司会 |
| 5. 食前感謝 | 柏原佳子ワイズ |
| 6. 会食・懇談 | |
| 7. ゲストスピーチ | 山本 一牧師 |
| 「サンノゼの光と影」 | (伊丹教会牧師) |
| 8. 第2例会議事録の承認 | 上野恭男会長 |
| 9. 事業委員の報告 | 各事業委員 |
| 10. YMCA報告 | 横山徹太郎担当主事 |
| 11. ニコニコ献金報告 | 坂東幸子ワイズ |
| 12. 誕生日祝い | 上野恭男会長 |
| 権 甲植・山口光一・大澤昌子(メネット) | |
| 13. 閉会点鐘 | 上野恭男会長 |

- | | |
|------------|-----------|
| 会 長 | 上野恭男 |
| 直前会長 | 大岩雅典 |
| 副 会 長 | 山口光一・福原吉孝 |
| 書 記 | 柏原佳子 |
| 会 計 | 桑野友子 |
| 監 事 | 島田 恒 |
| 担当主事 | 横山徹太郎 |
| 六甲部国際・交流主査 | 柏原佳子 |

5

May, 2024
323号

Yサ・ユース事業

濱瀬真知子

まず初めに 2023 年~2024 年Yサ、ユース事業委員会の事業主題は、「YMCA とワイズは 1 つの体、様々な talent を持つ人の集まり違いを楽しみ活かしましょう。」

「One body, many parts—we enjoy the differences」です。青少年の健全育成は変わることのない基本理念ですが、社会変化により活動の範囲が広がり、新たな対応と活動の拡大を支援しています。この主題は、特に Vision でのお互いの存在や、個性を認め合い、高めあう事、気持ちをもってつながるネットワークを広げることだと思えます。

ユースとは一般には25才までの青年の事です。

さて、YMCA でのユースとは18才~35才までの世代をユースと呼んでいます。幅広い年齢層のユースです。それゆえ、活動の範囲が広がります。ユース事業において特に目を向けたいのは、Vision です。1人1人ポジティブネットを作る担い手としての意識を持つ事を大切にしています。

YMCA 専門学校では世界中からの留学生のユースが在籍しています。新学期においては、新生活における日用品、食品等を、企業、各ワイズ、その他個人の方々から、支援をいただいております。

又、芦屋クラブにおいては、留学生交流会を開催、この事こそまさにポジティブネットです。

そしてYYYフォーラム、チャリティーランと活動の場は広がります。

① 安心できる場所 ②多様性を尊重する ③社会はこえられる

この3つをモットーとしてのユース事業が広がっていくことを、のぞみます。

4月例会会集計		
第1例会出席	例会出席率	BF切手
メンバー 11名	出席者 11名	累計 gm
メネット 1名	メイクアップ 3名	
コメント	合計 14名	ニコニコ
ビジター 1名	在籍者 18名	
ゲスト 名	(内広義会員1名)	
合計 13名	出席率 82.4%	累計 140,471 円

4 月第1例会報告

日時：2024年4月17日(水)19:00～21:00

場所：スターティング・オーバー (敬称略)

参加者：上野恭男会長・大岩雅典・柏原佳子・桑野友子
島田恒・田辺征一・堤清・福原吉孝・船橋知子
山口光一・横山徹太郎担当主事

ビジター：三宅敬(姫路グローバルクラブ)

今月の第1例会は大岩メンのお店「Starting Over」にて、楽しいティメント ブルーグラス ライブでの開催となった。小生も楽しみにしていた例会である。今回、姫路グローバルクラブの



三宅敬会長にも参加いただいたのがとても嬉しかった。

エンタテイナーはテトラポットというグループの演奏である。

先ず、第1例会の定例である上野会長の開会点鐘で開始した。弁当・ワンドリンク付きでそれぞれ美味しく食しながら、開演となった。テトラポットのギター、ベース、バンジウの軽快な演奏と

ハーモニーボーカルの歌声で始まった。リズム感たっぷりで会場を魅了していた。演目はオリジナル曲中心に3人の歌声も響き渡った。今回は、ブルーグラスライブで独特の演奏が会場に

響き渡り、特にバンジウの響きが高音で、リズム感たっぷりで心地よく会場を盛り上げていた。ブルーグラス音楽はカントリーミュージックを源流としながら、ある時期から枝分かれし、ブルース間隔を取り入れた演奏にはハーモニーボーカルが必ずつき、フラットマンドリンとバンジウを加えたアメリカ独自にブルーグラスして要請された音楽である。日本の大学には数多くの同好会があり、演奏を楽しんでいるクラブが多数有るとのことだ。軽快なリズムとハーモニー



ボーカルがとても楽しい。このテトラポットも京都の大学で結成されたグループとのことである。大いに盛り上がり、最後はカントリーロード



を全員で大きな声で歌った。軽快な演奏で、明るくて、リズム感たっぷりのテトラポットの楽しい演奏、ありがとうございます。

最後に、例会の会場を設営して頂いた大岩メンに大いに感謝して、報告を終える。

福原 吉孝

5月のスピーカー プロフィール



1975年京都生まれ 新潟大学経済学部 同志社大学大学院神学研究科卒 日本キリスト教団神戸多聞教会牧師 サンノゼウエスレー合同メソジスト教会牧師 現在伊丹教会牧師

テーマ「サンノゼの光と影」

サンノゼはサンフランシスコの南に位置し、シリコンバレーと呼ばれ、世界の情

報産業を主導、経済や社会に大きな影響を發揮しています。成功した大富豪と落ちこぼれたホームレスなど、格差や諸問題を露呈しています。

そんな地域のなかで、日系教会への派遣宣教師として7年間活躍された山本牧師が、映像を交えてその光と影を語ってくださいます。

芦屋クラブ 4 月第1例会に参加しました

みなさんこんにちは！姫路の三宅です。昨年のクリスマス例会には、出席予定だったのにインフルエンザでドタキャンし、大変ご迷惑をおかけしてすみませんでした。いつも柏原ワイズや上野ワイズに温かいご対応をいただき、ドタキャンのお詫びや恩返しをせねばと思っ



ていたところ、スターティング・オーバーのFACEBOOKで芦屋クラブの4月第1例会が開催されると知りました。これはなんと行か

ば！と思い、お願いして列席させていただきました。

ワイズの良さは、いろいろな人に出会えることです。柏原ワイズにお会いした時、帽子から足元に至るまでの素敵なお召し物と優雅な物言いに、とても驚きました。また、ゴルフだけでなくダンスもされる、ヨットもされる！と知り、びっくりしました。まるで、昔の東映映画に出てくる芦屋のお嬢様ではないですか！実際には芦屋の出身ではないのかも知れませんが、私は柏原ワイズ姉妹を、良い時代の芦屋のお嬢様(姉妹)と呼んでいます(ヨイショするのは、これくらいで良いでしょうか、笑)。

さて、芦屋クラブの良いところは、みなさんが仲良しなところと、例会に音楽がよく取り入れられていることだと思います。数年前のクリスマス例会では、ボードピリアンの演奏を始めて聞いて、こんな音楽があるんだな～と感心しました。柏原ワイズが六甲部部長をされた時に三宅バンドで演奏させていただきましたが、その時の音響(PA)は大岩ワイズでした。姫路グローバルのタケノコ掘り例会にも2度ほど芦屋のメンバーにお越しいただき、大岩ワイズ夫婦には飛び入り演奏いただいたことも懐かしい思い出です。

昨夜のスターティング・オーバーでの例会は、ブルーグラスバンドの演奏を楽しみました。とても良いライブハウスで、弁当も美味でした。いつもながら、芦屋クラブのみなさまの素晴らしい配慮には感心です。

ということで、今後もよろしくお願ひいたします。

姫路グローバルクラブ 三宅 敬

さくら祭りが開催されました

4月7日(日)は朝8時に所定の19番ブースに行きました。



横山担当主事が早朝だけのお手伝いにと来られており、いよいよ店舗設営に取り掛かり9時ころにはすべて完了。

チームワークの良さでしょうか、慣れたものでした。

今回のさくら祭りは、昨年同様に1日だけの開催でした。保健所への申請と指導を受け、プロパンガスの受け取り、芦屋市市民参画課や芦屋市商工会への申告などを行いました。今回の販売メニューは、チヂミ、ワイン、イソベ焼きの3品ですべて@300円でと決まりました。

10時から開店間もなく用意されたイソベ焼きは完売。JRの跨線橋の上で店舗の位置はやや不利な思いがありま



したが、天気が良いという賑わいになり、チヂミもワインも売れに売れ、さくら祭りは、初めてのメンバーも、熟練されたメンバーも途切れない行列に負けずに腕を振るい、16時過ぎには完売となりました。

濱瀬ワイズと福原ワイズがワインの仕入れを担当。堤ワイズがチヂミ粉をネットで購入など、総力を挙げての協力が嬉しいことでした。桑野ワイズのきめ細かい手配で無事に終わることが出来、芦屋クラブの仲間は素晴らしいと思いました。

18時30分まで店を開けないといけないので近くの店で材料を仕入れたりして、追加の販売も初めての経験でした。

神戸クラブ、西宮クラブ、神戸ポートクラブ、宝塚クラブの面々も顔を見せてくれ、メネットさんやそれぞれの家族、教会の方達の訪問も嬉しいことでした。また、差し入れもいただきワイズの仲間に感謝です。



売り上げは、販売単価を200円から300円にUPしたこともあり、20万円ほどでした。

綿菓子の代わりに、イソベ焼きが加わり、来年は2日間で開催されるであろう、さくら祭りが楽しみになりました。その夜の打ち上げ会は談論風発、疲れはすっかり飛んでいきました。

上野 恭男

【3つの小窓】

① ◆2024【マスターズ・ゴルフ選手権】が去る4月15日に終わった。4日間、深夜中継のためすっかり睡眠不足に。【ときめき】のシーズンに相等しい【オーガスタ・カンツリークラブ】での世界的選手権だ。満開のアザレアに囲まれたこの【NO13 ホール】は選手にとってはアーメンコーナーと呼ばれる難ホールの1つだが、グリーンを取巻く風景は池。クリーク(小川)。美しい変形グリーン。数多い白いバンカー。そして多くのカラフルなパトロン(観客)達の姿。毎年この見事なシーン(絵画のような)を観て感激している私である。★試合結果は2021年に東洋人で始めて優勝した【松山選手】の再Vは成らなかったが若いアメリカ勢の台頭に苦しんだが、難コースを克服したのは立派だった。数年前までアマチュア出身でオーガスタに挑戦して来た彼のファンです。



次の機会を期待したい。

②◆自宅庭にも春の花が【ときめき】を感じさせて呉れる。上品なピンクの【アメリカ・ハナミズキ】が今年は多く花をつけた。主役の【ジャーマンアイリスも予定通りに昨日から蕾がチラホラ咲き出した。可憐なカモミールの花もあちこちに種を飛ばして咲きだした。例年6月には群生する【白いレースフラワー】がセンスあるお洒落な【ジャーマンアイリス】をバックヤードの役目をして呉れる。今朝からモンシロチョウが2匹飛び交っていた。賑わっていた【甘党】のメジロ達は山に戻ったみたい。春の【ときめき】はアチコチで。もう直ぐだ。待ちどおしい。

③◆【桜咲く日と1年生・幼児達。】4月初旬のある日。豊中市千里中央ショッピング・モール内に人工芝で造られた円錐型の【遊戯用の小山】がある。《年長さん・及び小1年》らしい幼児達が元気過ぎる程小山の周りを走り廻っている。そして【小山】をかけ登り、頭から滑って降りてくる。



御さんは小山の裾のベンチに陣取って見守っているがこちら見物人はヒヤヒヤの連続だった。そんな時お父さんに連れられた【フレンチブルドック】のあどけない【仔犬】が私のそばで悲しそうな声で泣きだした。リード

で散歩がてらに立ち寄ったみたいだった。それにしても甘えるあの悲しそうな《鼻声》には参った。実に忘れられないほど続いて泣き止まない。お父さんもすかさず抱き上げヨシヨシを。そして持参の水を特別の皿付き容器で…。少し落ち着いた感じ。その後お父さんと少し雑談する機会があった。《彼が悲しく泣いたのは幼児達と平等に飛び跳ねたかった。》のだろうと推測した。実は彼も家族と一緒に3日前に埼玉県から豊中に引越して来たばかりとの事であった。環境の変化も彼には辛かったのかも。いじらしいヒトコマだったと思う。

篠坂 幸彦

『 聖句 読み説き 』

ガリラヤ湖に戻ってきたペトロに復活したイエスは弟子たちと湖畔で食事をすする。その時のイエスとペトロとの会話である。食後、イエスは「ヨハネの子シモン、この人たち以上にわたしを愛しているか」と言われた。ペトロが、はい、主よ、わたしがあなたを愛していることは、あなたをご存じです。」と言うと、イエスはわたしの子羊を飼いなさい」と言われた。二度目にイエスは言われた。「ヨハネの子シモン、わたしを愛しているか。」ペトロが、「はい、主よ、わたしがあなたを愛していることは、あなたをご存じです。」と言うと、イエスは、「わたしの羊の世話をしなさい」と言われた。三度目にイエスは言われた。「ヨハネの子シモン、わたしを愛しているか。」ペトロは、イエスが三度目も、「わたしを愛しているか」と言われたので、悲しくなった。そして言った。「主よ、あなたは何かもご存じです。わたしがあなたを愛していることを、あなたはよく知っておられます。」イエスは言われた。「わたしの羊を飼いなさい。」「あなたはわたしを愛しているか」と三度も問うイエスに、ペトロは「あの時」を思い出す。イエスの宗教裁判の時、周りから「お前も仲間だろう」と詰め寄られ、「わたしはそんな人のことは知らない」と否定する。それも三度もイエスの予言通りに鶏が鳴く前に……。この聖句のキーワードは「愛しているか?」である。日本語の「愛」は新約聖書の原文のギリシャ語では、無条件の神の愛を指す「アガペー」、親兄弟の愛を指す「フィリア」、本能的な愛を指す「エロース」の使い分けをしている。最初のイエスの問いかけは「アガペー」でこれにペトロは「フィリア」で答えている。しかし三度目のやり取りではイエスも「フィリア」で対応し、ここに、イエスの愛の優しさを見ることが出来る。「フィリア」から「アガペー」へと変わるペトロの心をイエスは望んでおられ、「わたしの羊を飼いなさい」と語ると共に、ペトロの殉教の死を預言された。伝承ではキリストに申し訳ないとペトロは「逆さ十字架」を所望したという。 羽太英樹

4月第2例会議事・報告

と き: 4月24日(水)19時～

と ころ: 芦屋市民センター204号室 19:00～

参加者: 上野会長・島田・阪東・柏原・横山担当主事
議事・報告

□ プリテン編集会議: 桑野編集長(代理柏原書記)

□ 第1例会

- ・5月15日(水) プロジェクターとパソコン(ご本人持参)
- ・6月19日(水)次期会長と共にこれからの一年を考える

□ 今後の予定

- ・4月22日(月)第4回2025年度西日本区大会実行委員会(原則毎月第4月曜日)
- ・6月8日(土)13時～西日本区大会名古屋市公会堂懇親会:18時～20時45分 ANAクラウンプラザホテル
参加者:上野、大岩、柏原、桑野、田辺、坂東、福原、船橋(全員が登録済みである事を確認する)
☆ 新幹線切符手配 JTBで纏めて購入 上野会長

□ さくら祭り会計報告と今後について。(別紙)

□ 3月会計報告 桑野会計(代理書記・承認)

□ その他報告、協議事項

- ・次期西日本区理事支援金: クラブよ50,000円(2年)を確認、会計より送金予定

・次期西日本区実行委員会: 100,000円の仮出資金案はペンディング

□ YMCA 報告: 横山担当主事

・神戸 YMCA 創立記念礼拝

日時: 5月11日(日) 10:00～11:00

会場: 神戸YMCAチャペル

・能登半島支援報告会を5月16日(木)ZOOMで開催

□ 6月第2例会は、上野会長邸で行なう

書記 柏原佳子

YMCA ニュース

神戸 YMCA 学院専門学校 ホテル学科

オリエンテーションキャンプ

神戸 YMCA 学院専門学校では、今年度も多くの新入生を迎えることができました。2024年4月4日、チャペルで入学式を執り行いました。日本語学科の学生のなかには、自国の民族衣装を着て出席する学生が今年も多く、華やかな式となりました。そして、ホテル学科の学生たちはスーツ着用です。みんな早くもスーツがよく似合っていました。

翌日から、ホテル学科の1・2年生は、1泊2日のオリエンテーションキャンプを実施しました。場所は、しあわせの村です。

人との交流を通し、コミュニケーション力や積極性を身に付けるとともに、日常の生活から離れ、自然の中で感性を磨くことを目的としたキャンプです。以下の3つを目標に、各プログラムに取り組みました。

① 1・2年生の交流を深める。

② 積極的にコミュニケーション・協力を体験する。

③ 非日常的な環境の中で、新しい自分を発見する。

1日目は、宿泊先のしあわせの村「野外活動センターあおぞら」に13時に集合し、『人間関係トレーニング』を実施しました。グループワークを通して、学生たち一人一人の気づきや成長が見



られました。グループや組織のなかに、不要な人など一人もいないということが、最大の学びでした。

2日目は、ネイチャーゲームで盛り上がった後、あいな里山公園へハイキングに行きました。学生たちは、里地里山文化を楽しんでいました。ハイキングを終え、少し振り返りの時間を持ち、正午に解散しました。



お天気に恵まれた2日間、満開の桜に包まれた自然のなかで、新入生も先輩も、これからの学校生活や就職活動に向けて、仲間とともに良い時間を過ごすことができました。

担当主事 横山徹太郎

編集後記: ◆4月末には桜前線は北海道まで北上、阪神間はもう「目に青葉・・・」となっています。◆スポーツの季節、野球・サッカー・ゴルフ、又今年はパリオリンピック年、陸上や水泳と代表選手の選考会もたけなわ、私達も観戦だけではなく、身体を動かしたいですね。 桑野友子